

宗教学専修

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	曜日・講時	平成30年度以前入学者 読替先授業科目
宗教学概論	日本の宗教学形成過程と宗教性の探求	2	高橋 原	後期 金曜日 2 講時	
宗教学概論	宗教と現代社会	2	木村 敏明	前期 金曜日 2 講時	
宗教学基礎講読	宗教学の基礎理論	2	木村 敏明	前期 金曜日 3 講時	
宗教学基礎講読	宗教民俗学の基礎理解	2	阿部 友紀	後期 火曜日 2 講時	
宗教学基礎演習	宗教研究の技法	2	木村 敏明、高橋 原、 谷山 洋三、大村哲夫	前期 金曜日 5 講時	
宗教学基礎演習	宗教研究の技法	2	木村 敏明、高橋 原、 谷山 洋三、大村哲夫	後期 金曜日 5 講時	
宗教学基礎実習	宗教学調査法	2	木村 敏明	前期 月曜日 4 講時 後期 月曜日 5 講時	
宗教学基礎実習	宗教学調査法	2	木村 敏明	後期 月曜日 4 講時 後期 月曜日 5 講時	
宗教学各論	災害と宗教	2	木村 敏明	後期 火曜日 3 講時	
宗教学各論	未定	2	未定	通年集中 その他 連講	
宗教学各論	仏教と民俗宗教	2	阿部 友紀	前期 火曜日 3 講時	
死生学各論	宗教心理学	2	高橋 原	前期 水曜日 3 講時	
死生学各論	スピリチュアリティと死生観	2	高橋 原	後期 水曜日 3 講時	
死生学各論	死とともに生きることを学ぶ	2	竹之内 裕文	後期集中 その他 連講	
実践宗教学各論	スピリチュアルケア	2	谷山洋三	前期 金曜日 4 講時	
実践宗教学各論	宗教的ケア	2	谷山洋三	後期 金曜日 4 講時	
宗教学講読	A study of ghostlore in America	2	Andrews Dale	前期 火曜日 4 講時	
宗教学講読	A study of ghostlore in America	2	Andrews Dale	後期 火曜日 4 講時	
宗教学演習	宗教研究の技法	2	木村 敏明、高橋 原、 谷山 洋三、大村哲夫	前期 金曜日 5 講時	
宗教学演習	宗教研究の技法	2	木村 敏明、高橋 原、 谷山 洋三、大村哲夫	後期 金曜日 5 講時	
宗教学実習	宗教学調査法	2	木村 敏明	前期 月曜日 4 講時 前期 月曜日 5 講時	
宗教学実習	宗教学調査法	2	木村 敏明	後期 月曜日 4 講時 後期 月曜日 5 講時	

科目名：宗教学概論／ Science of Religions (General Lecture)

曜日・講時：後期 金曜日 2講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：高橋 原

コード：LB45206 科目ナンバリング：LHM-RES201J 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：日本の宗教学形成過程と宗教性の探求
2. Course Title (授業題目)：The formation of religious studies in Japan and the search for religiosity
3. 授業の目的と概要：日本の宗教学の形成過程を振り返りながら、初期の宗教学者たち、また彼らに学んだ人々が宗教というものをもどのように把握しようとしていたのかを考える。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：This course describes the early history of religious studies in Japan, as well as the understanding of religion or religiosity by the intellectuals in Meiji era.
5. 学習の到達目標：
日本人にとって宗教とはなんであるのかという現代の問題意識に結びつけながら宗教学の歴史と基本概念を学ぶ。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Students will learn the history of religious studies in Japan and basic terms in religious studies, as well as what religion means to Japanese.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
この科目ではClassroomを使用して講義資料と講義情報を発信します。このクラスコードは j3am2nr です。Classroomにアクセスし、クラスコードを入力してください
(1)イントロダクション
(2)姉崎正治の宗教学
(3)姉崎正治の宗教学 高山樗牛との交流をめぐって
(4)姉崎正治の宗教学 比較宗教学事始
(5)姉崎正治の宗教学 民間信仰をめぐって
(6)姉崎正治の宗教学 復活の曙光と神秘主義と
(7)加藤玄智の宗教学と神道論
(8)井上哲次郎と理想教
(9)宗教的知識人の動向 松村介石
(10)宗教的知識人の動向 村井知至
(11)宗教的知識人の動向 成瀬仁蔵
(12)宗教的知識人の動向 鶴藤幾太
(13) 帰一協会と宗教協力運動
(14)新仏教運動とその周辺
(15)結論
8. 成績評価方法：
期末レポートによる
9. 教科書および参考書：
特に指定しない
10. 授業時間外学習：配布資料を熟読すること。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business
12. その他：

科目名：宗教学概論／ Science of Religions (General Lecture)

曜日・講時：前期 金曜日 2 講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：木村 敏明

コード：LB35209 科目ナンバリング：LHM-RES201J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：宗教と現代社会

2. Course Title (授業題目)：Religion and Modern Society

3. 授業の目的と概要：この授業では、現代社会における宗教の諸相を具体的事例をとりあげつつ宗教学的視点から論じ、その意義や課題を明らかにしていく。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：This course will explore the various aspects of religion in modern society from the perspective of religious studies to help students understand the meanings and tasks of religion in modern world.

5. 学習の到達目標：

現代社会において宗教が持つ意義や課題について理解できる。

宗教学的視点から現代社会の諸問題について考えることができる。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：Students learn about the meanings and tasks of religions in modern world.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. イントロダクション

2. 現代宗教の基礎理論 世俗化

3. 現代宗教の基礎理論 公共宗教

4. 現代宗教の基礎理論 民間信仰

5. 小括

6. 宗教と政治

7. 宗教と経済

8. 宗教と教育

9. 宗教と移民

10. 宗教と科学

11. 小括

12. 現代宗教学の最前線 神観念論

13. 現代宗教学の最前線 宗教集団論

14. 現代宗教学の最前線 儀礼論

15. まとめ

8. 成績評価方法：

毎回の授業後に提出する小レポート[40%]、期末のレポート[60%]

9. 教科書および参考書：

教科書は使用しない。参考書は授業中に指示するが全体的なものとしては『よくわかる宗教学』（櫻井義秀・平藤喜久子編、ミネルヴァ書房、2015 年）をあげておく。

10. 授業時間外学習：日ごろから新聞等で宗教関連の情報を収集し、小レポートに反映させる。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

12. その他：

科目名：宗教学基礎講読／ Science of Religions (Introductory Reading)

曜日・講時：前期 金曜日 3講時

semester：3 単位数：2

担当教員：木村 敏明

コード：LB35305 科目ナンバリング：LHM-RES202J 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：宗教学の基礎理論
2. Course Title (授業題目)：Basic theories of religious Studies
3. 授業の目的と概要：この授業は宗教学の基礎的文献を読み、それをもとに討論を行うことで、宗教学の基本的理論と知識を身につけることを目的とする。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：This course aims to help students gain basic knowledge on the theories of religious studies through reading literature and discussing about it.
5. 学習の到達目標：
宗教学の基本的理論を身につける
文献を正確に読み、それに基づいた議論を行うことができるようになる
6. Learning Goals (学修の到達目標)：To gain knowledge on basic theories of religious studies
To gain skills of precise reading and discussion
7. 授業の内容・方法と進度予定：
この授業では、グループによる発表、討論という形式をとりながら、宗教学の基本概念の学習と学術論文の読解法について学ぶ。
 1. インTRODakシヨン① 授業の進め方
 2. インTRODakシヨン② グループ分けなど
 3. 宗教学の諸概念 例、民間信仰
 4. 宗教学の諸概念 例、祖先祭祀
 5. 宗教学の諸概念 例、シャマニズム
 6. 宗教学の諸概念 例、世俗化
 7. 宗教学の諸概念 例、来世
 8. 宗教学の諸概念 例、死者
 9. 学術論文精読 例、民間信仰
 10. 学術論文精読 例、祖先祭祀
 11. 学術論文精読 例、シャマニズム
 12. 学術論文精読 例、世俗化
 13. 学術論文精読 例、来世
 14. 学術論文精読 例、死者
 15. まとめ
8. 成績評価方法：
発表と授業への参加を総合的に評価する。
9. 教科書および参考書：
教科書は用いないが、以下の文献は宗教学研究上の必読書であり、一読を強く推奨する。
A textbook will not be used. The following book is essential reading for the religious studies and is strongly recommended for reading.
沼崎一郎、『はじめての研究レポート作成術』、岩波ジュニア新書、2018年。
10. 授業時間外学習：全員が事前にテキストを熟読してくる。発表者は発表の準備が必要である。
Students should read text before class.
11. 実務・実践的授業/Practical business：
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business
12. その他：

科目名：宗教学基礎講読／ Science of Religions (Introductory Reading)

曜日・講時：後期 火曜日 2 講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：阿部 友紀

コード：LB42207 科目ナンバリング：LHM-RES202J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：宗教民俗学の基礎理解
2. Course Title (授業題目)：A Basic Understanding of Japanese Religious folklore
3. 授業の目的と概要：宗教民俗学における「憑霊」「異人」について理解する。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：Understanding "possession" and "stranger" in Religious folklore
5. 学習の到達目標：
日本の宗教文化を理解する上での基礎を理解できる。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Basics of understanding Japanese religious culture.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 1. はじめに 講義内容について
 2. 「憑きもの」と民俗社会①
 3. 「憑きもの」と民俗社会②
 4. 説明体系としての「憑きもの」①
 5. 説明体系としての「憑きもの」②
 6. 《呪詛》あるいは妖術と邪術①
 7. 《呪詛》あるいは妖術と邪術②
 8. 異人殺しのフォークロア①
 9. 異人殺しのフォークロア②
 10. 異人論への人類学的視点①
 11. 異人論への人類学的視点②
 12. 蓑笠をめぐるフォークロア①
 13. 蓑笠をめぐるフォークロア②
 14. 「憑霊」と「異人」をめぐって①
 15. 「憑霊」と「異人」をめぐって②※講義内容、順番は若干変更する可能性がある。
8. 成績評価方法：
学期末レポート（講義内容に関連のあるテーマを自由に設定し論じる。80%）および毎回のレスポンスシート、授業参加度（出席確認を兼ねる。20%）により評価する。
9. 教科書および参考書：
小松和彦『憑霊信仰論』講談社学術文庫, 1994 年、小松和彦『異人論』ちくま学術文庫, 1995 年をテキストとして使用する。
補足資料は授業で提示する。
10. 授業時間外学習：レポート作成に向けて文献調査を行うこと。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
12. その他：

科目名：宗教学基礎演習／ Science of Religions (Introductory Seminar)

曜日・講時：前期 金曜日 5 講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：木村 敏明、高橋 原、谷山 洋三、大村哲夫

コード：LB35502 科目ナンバリング：LHM-RES203J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：宗教学研究の技法

2. Course Title (授業題目)：How to study religions: presentation and discussion class

3. 授業の目的と概要：毎回複数の受講生が研究発表を行い、その内容をめぐって参加者全員が検討し議論をすることで、自らの問題関心を聴衆に理解されるように発表する力、他者の研究発表を正確かつ批判的に聞く力、異なった見解を持った者で議論をする力を涵養することを目指す。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：The aim of this course is to help students acquire the necessary skills to present the result of their study, to hear and understand them precisely and to discuss about them logically. In every class, students will make discussions on the presentations done by 2-3 students in turn.

5. 学習の到達目標：

宗教学研究のために必要な知識と技法を習得することができる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will gain abundant knowledge and skills required in religious studies.

7. 授業の内容・方法と進捗予定：

1. インTRODククション：授業の狙いおよび進め方

2. 学部3年発表 1グループ

3. 学部3年発表 2グループ

4. 学部3年発表 3グループ

5. 学部3年発表 4グループ

6. 学部3年発表 5グループ

7. 学部3年発表 6グループ

8. 予備日：学部3年欠席者のため

9. 学部4年発表 グループ1

10. 学部4年発表 グループ2

11. 学部4年発表 グループ3

12. 学部4年発表 グループ4

13. 学部4年発表 グループ5

14. 学部4年発表 グループ6

15. 予備日：学部4年欠席者のため

8. 成績評価方法：

発表および討論への参加

9. 教科書および参考書：

教科書は使用しない。参考書については、授業中に紹介する。

No textbook will be used. References will be introduced in the class.

10. 授業時間外学習：発表準備。

Preparation for presentation

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

12. その他：

科目名：宗教学基礎演習／ Science of Religions (Introductory Seminar)

曜日・講時：後期 金曜日 5 講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：木村 敏明、高橋 原、谷山 洋三、大村哲夫

コード：LB45502 科目ナンバリング：LHM-RES203J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：宗教学研究の技法

2. Course Title (授業題目)：How to study religions: presentation and discussion class

3. 授業の目的と概要：毎回複数の受講生が研究発表を行い、その内容をめぐって参加者全員が検討し議論をすることで、自らの問題関心を聴衆に理解されるように発表する力、他者の研究発表を正確かつ批判的に聞く力、異なった見解を持った者で議論をする力を涵養することを目指す。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：The aim of this course is to help students acquire the necessary skills to present the result of their study, to hear and understand them precisely and to discuss about them logically. In every class, students will make discussions on the presentations done by 2-3 students in turn.

5. 学習の到達目標：

宗教学研究のために必要な知識と技法を習得することができる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will gain abundant knowledge and skills required in religious studies.

7. 授業の内容・方法と進捗予定：

1. インTRODククション：授業の狙いおよび進め方

2. 学部3年発表 グループ1

3. 学部3年発表 グループ2

4. 学部3年発表 グループ3

5. 学部3年発表 グループ4

6. 学部3年発表 グループ5

7. 予備日：学部3年欠席者のため

8. 学部4年発表 グループ1

9. 学部4年発表 グループ2

10. 学部4年発表 グループ3

11. 学部4年発表 グループ4

12. 学部4年発表 グループ5

13. 予備日：学部4年欠席者のため

14. 学部2年発表 グループ1

15. 学部2年発表 グループ2

8. 成績評価方法：

発表および討論への参加。

9. 教科書および参考書：

教科書は使用しない。参考書については、授業中に紹介する。

No textbook will be used. References will be introduced in the class.

10. 授業時間外学習：発表準備。

Preparation for presentation

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

12. その他：

科目名：宗教学基礎実習／ Science of Religions (Introductory Seminar)

曜日・講時：前期 月曜日 4 講時. 前期 月曜日 5 講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：木村 敏明

コード：LB31406 科目ナンバリング：LHM-RES204J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：宗教学調査法
 2. Course Title (授業題目)：How to research religions: from planning to fieldwork
 3. 授業の目的と概要：他者の信仰を理解するためには、文字化された資料を扱うのみでは限界があり、フィールドワークに基づき、活きた信仰を解き明かすことが必須である。本授業では、宗教調査の方法とスキルについて講義を通して学習し、夏季におこなう共同調査に向けて調査計画の立案を行う。
 4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：It is important for students in religious studies to know living religious cultures. This course offers an opportunity for students to experience field research to deepen their understanding of religion.
 5. 学習の到達目標：
 - (1) 宗教調査の立案、準備、実施、資料整理、発表の技法を身につける。
 - (2) 調査を通じて「活きた宗教」に対する理解を深める。
 6. Learning Goals (学修の到達目標)：This course is designed to help students develop basic skills of field research in religious studies and deepen their understanding of living religious cultures
 7. 授業の内容・方法と進度予定：
 1. イントロダクション
 2. 第一回：宗教学におけるデータとは
 3. 第二回：参与観察法
 4. 第三回：インタビュー調査法
 5. 第四回：質問紙調査法
 6. 第五回：文献調査法・情報検索法
 7. 第六回：映像記録法① 写真撮影の基本
 8. 第七回：映像記録法② ビデオ撮影の基本
 9. 第八回：映像記録法③ 写真撮影実習
 10. 第九回：調査と研究の倫理
 11. 第十回：現地調査計画の立案
 12. 第十一回：現地調査準備① 地域について知る
 13. 第十二回：現地調査準備② 先行研究をまとめる
 14. 第十三回：現地調査準備③ 質問項目を考える
 15. 第十四回：まとめ、調査の最終チェック
 8. 成績評価方法：

授業/ 調査への取り組み、発表を総合的に評価する
 9. 教科書および参考書：

教科書は使用しない。参考書については、授業中に紹介する。
- No textbook will be used. References will be introduced in the class.
10. 授業時間外学習：授業中に指示された課題、準備。夏季に実施される現地調査への参加。

Students are required to prepare for class assignments and attend to Summer Semester Research.
 11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：○

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness
 12. その他：

科目名：宗教学基礎実習／ Science of Religions (Introductory Seminar)

曜日・講時：後期 月曜日 4 講時, 後期 月曜日 5 講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：木村 敏明

コード：LB41405 科目ナンバリング：LHM-RES204J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：宗教学調査法
2. Course Title (授業題目)：How to research religions: from planning to fieldwork
3. 授業の目的と概要：他者の信仰を理解するためには、文字化された資料を扱うのみでは限界があり、フィールドワークに基づき、活きた信仰を解き明かすことが必要である。本授業では、夏季に行われた宗教調査をもとにしてそのまとめ作業をおこなう。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：It is important for students in religious studies to know living religious cultures. This course offers an opportunity for students to experience field research to deepen their understanding of religion.
5. 学習の到達目標：
 - (1) 宗教調査の立案、準備、実施、資料整理、発表の技法を身につける。
 - (2) 調査を通じて「活きた宗教」に対する理解を深める。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：This course is designed to help students develop basic skills of field research in religious studies and deepen their understanding of living religious cultures
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 1. インTRODクシヨン 後期授業の概要
 2. 第一回、調査のまとめ①
 3. 第二回、調査のまとめ②
 4. 第三回、調査のまとめ③
 5. 第四回、調査のまとめ④
 6. 第五回、調査のまとめ⑤
 7. 第六回、調査のまとめ⑥
 8. 第七回、中間発表
 9. 第八回、動画編集①
 10. 第九回、動画編集②
 11. 第十回、動画編集③
 12. 第十一回、動画編集④
 13. 第十二回、動画編集⑤
 14. 第十三回、成果発表
 15. 第十四回、総括と反省
8. 成績評価方法：

授業/ 調査への取り組み、発表を総合的に評価する
9. 教科書および参考書：

教科書は使用しない。参考書については、授業中に紹介する。

No textbook will be used. References will be introduced in the class.
10. 授業時間外学習：授業中に指示された課題、準備。

Students are required to prepare for class assignments.
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：○

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business
12. その他：

科目名：宗教学各論／ Science of Religions (Special Lecture)

曜日・講時：後期 火曜日 3 講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：木村 敏明

コード：LB62310 科目ナンバリング：LHM-RES301J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：災害と宗教

2. Course Title (授業題目) : Disaster and Religion

3. 授業の目的と概要：突然にやってきて人々の日常生活の基盤を突き崩してしまう自然災害。被災者たちや周囲の人々が災害を受け止め、生活を立て直す中で、宗教はいかなる役割を果たしてきたのか。この授業では自然災害をめぐる宗教的観念、儀礼的实践に関する先行研究を毎回取り上げながら、現代社会における宗教の意義や課題について議論を行うことで問題の理解を深める。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : This course explores various previous studies on disaster and religion and discusses meanings and tasks of religion in modern society.

5. 学習の到達目標：

宗教学的なものの見方をみにつけることができる。

現代社会における宗教の意義や課題について具体的な事例を通して理解できる。

6. Learning Goals(学修の到達目標) : The purpose of this course is to help students understand meanings and tasks of religion in modern society through the topic about religion and disaster.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. イントロダクション 1：何故災害と宗教か？
2. イントロダクション 2：発表準備
3. 論文講読 宗教的観念と災害 災因論
4. ディスカッション
5. 講義
6. 論文講読 宗教的観念と災害 神義論
7. ディスカッション
8. 講義
9. 論文講読 宗教的儀礼と災害 祭り
10. ディスカッション
11. 講義
12. 論文講読 宗教的儀礼と災害 追悼式
13. ディスカッション
14. 講義
15. まとめ

8. 成績評価方法：

毎回の授業後提出の小レポート{40%}、期末レポート[60%]

9. 教科書および参考書：

教科書は用いない。参考書は授業中に指示する。

10. 授業時間外学習：新聞や読書などで普段からトピックに関連した情報を収集するようにつとめ、授業後の小レポートに反映させる。

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

科目名：宗教学各論／ Science of Religions (Special Lecture)

曜日・講時：前期 火曜日 3 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：阿部 友紀

コード：LB52311 科目ナンバリング：LHM-RES301J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：仏教と民俗宗教

2. Course Title (授業題目)：Buddhism and Folk religion

3. 授業の目的と概要：日本における仏教と民俗宗教の関係性について議論する。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：Discuss the relationship between Buddhism and folk religion in Japan

5. 学習の到達目標：

日本の宗教文化を理解する上での基礎を理解できる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：Understand the basics of understanding Japanese religious culture

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. はじめに 講義内容について
2. 仏教受容と民俗宗教①
3. 仏教受容と民俗宗教②
4. 阿弥陀信仰と民俗的世界①
5. 阿弥陀信仰と民俗的世界②
6. 卯月八日の民俗と仏教①
7. 卯月八日の民俗と仏教②
8. 屋敷先祖の祭祀①
9. 屋敷先祖の祭祀②
10. 無縁霊とその祭祀①
11. 無縁霊とその祭祀②
12. 盂蘭盆—三つの盆棚—①
13. 盂蘭盆—三つの盆棚—②
14. 祟り神と流行神
15. おわりに 日本宗教文化の理解

※講義内容、順番は若干変更する可能性がある。

8. 成績評価方法：

学期末レポート（講義内容に関連のあるテーマを自由に設定し論じる。80%）および毎回のレスポンスシート（出席確認を兼ねる。および授業参加度。20%）により評価する。

9. 教科書および参考書：

伊藤唯真『仏教と民俗宗教』国書刊行会, 1984 年をテキストとする。補足資料は授業時に提示する。

10. 授業時間外学習：レポート作成に向けて文献調査を行うこと。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

12. その他：

科目名：死生学各論／ Death & Life Studies (Special Lecture)

曜日・講時：前期 水曜日 3 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：高橋 原

コード：LB53312 科目ナンバリング：LHM-RES307J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：宗教心理学

2. Course Title (授業題目)：Psychology of Religion

3. 授業の目的と概要：W・ジェイムズ、S・フロイト、C・G・ユング等の古典的な心理学者たちの議論を踏まえて、トランスパーソナル心理学などへの展開も視野に収める。また、キリスト教世界における回心体験やエクソシズム、吉本内観など日本の宗教的心理療法の事例をとりあげながら、宗教の持つ意味を人間心理の側面から考える。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：Students will learn about the classical theories of psychologists of religion, such as, Willam James, Sigmund Freud, or Carl Gustav Jung, as well as the theory of transpersonal psychology. This will help students understand the meaning of religion in terms of human psyche. In the lecture, religious conversion, exorcism, and naikan ryoho will be referred to.

5. 学習の到達目標：

心理学者たちの思想的営みと基本概念を学び、宗教が人間心理に及ぼす影響を理解する。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：Student will learn the thought of psychologists and basic theory of their system, in order to understand how religion effects human psyche.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

この科目ではClassroomを使用して講義資料と講義情報を発信します。

第1回：イントロダクション 人間の心と宗教

第2回：回心と意識変容(1) 近代アメリカの宗教事情と初期の回心研究

第3回：初期の日本の宗教学と回心研究

第4回：ウィリアム・ジェイムズの宗教論(1) 健全な心と病める魂

第5回：ウィリアム・ジェイムズの宗教論(2) 潜在意識仮説とプラグマティズム

第6回：フロイトの宗教論(1) 前史：メスメリズムと催眠術

第7回：フロイトの宗教論(2) 抑圧理論と宗教論

第8回：悪魔祓と原始的な心理療法について

第9回：ユングの宗教論(1) コンプレックスと連想実験

第10回：ユングの宗教論(2) イメージとヴィジョン

第11回：ユングの宗教論(3) 神話と意識の進化

第12回：トランスパーソナル心理学と宗教(1) ライフサイクル論と宗教意識

第13回：トランスパーソナル心理学と宗教(2) 意識変容と宗教

第14回：宗教から心理療法へ 吉本内観を例に

第15回：論点振り返り 人間心理と宗教体験

以上の大筋に添って、死生学的観点から考察を加える。

8. 成績評価方法：

毎回提出のミニットペーパーの内容と、期末レポートによる。

9. 教科書および参考書：

特に指定しない。

10. 授業時間外学習：配布資料を熟読し、理解を深める。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business

12. その他：

毎回授業内で課題を出すのでミニットペーパーで回答すること。

科目名：死生学各論／ Death & Life Studies (Special Lecture)

曜日・講時：後期 水曜日 3 講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：高橋 原

コード：LB63311 科目ナンバリング：LHM-RES307J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：スピリチュアリティと死生観
2. Course Title (授業題目)：Spirituality and View of Death and Life
3. 授業の目的と概要：世界保健機関における健康定義の議論や、鈴木大拙、C・G・ユング、キューブラ＝ロスなどを参考に、医学や心理学の領域で蓄積されてきた死生観とスピリチュアリティについての多様な見解を紹介しながら考察する。具体的な事象への応用としては、お迎え現象、臨死体験、修行の心理などの他、遠藤周作やル＝グウィンなどの文学作品を取り上げて検討する。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：Views on soirituality, or death and life, will be considered, referring to WHO definition of health, writings of Daisetsu Suzuki, C. G. Jung, and E. K. Ross. Also referred to are bedside vision of the dead, near death experience, Shusaku Endo, or Ursula Kroeber Le Guin.
5. 学習の到達目標：
スピリチュアリティと宗教という視点から、人間の生と死について理解を深める。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will understand death and life interms of spirituality and religion.
7. 授業の内容・方法と進捗予定：
第1回：イントロダクション スピリチュアリティとは何か
第2回：宗教とスピリチュアリティ
第3回：世界保健機関の健康定義とスピリチュアリティ
第4回：鈴木大拙『日本的靈性』とスピリチュアリティ
第5回：C・G・ユングとスピリチュアリティ
第6回：キューブラ＝ロスの臨死体験論とスピリチュアリティ
第7回：チベット死者の書とスピリチュアリティ
第8回：お迎え現象と日本人のスピリチュアリティ
第9回：心霊現象とスピリチュアリティ
第10回：修行とスピリチュアリティ
第11回：近代日本の知識人とスピリチュアリティ(1)明治期
第12回：近代日本の知識人とスピリチュアリティ(2)大正期
第13回：文学作品に見るスピリチュアリティ(1)遠藤周作
第14回：文学作品に見るスピリチュアリティ(2)ル＝グウィン
第15回：論点振り返り スピリチュアリティと現代
8. 成績評価方法：
毎回提出のミニットペーパーと期末レポートによる。
9. 教科書および参考書：
窪寺敏之『スピリチュアリティ学概説』三輪書店、2008年、他、適宜授業内で指示する。
10. 授業時間外学習：テキスト、配布資料を熟読する。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
12. その他：
毎回授業内で課題を与えるのでミニットペーパーにより回答すること。

科目名：死生学各論／ Death & Life Studies (Special Lecture)

曜日・講時：後期集中 その他 連講

Semester：6 単位数：2

担当教員：竹之内 裕文

コード：LB98833 科目ナンバリング：LHM-RES307J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：死とともに生きることを学ぶ
2. Course Title (授業題目)：Cultivating Wisdom of Mortal Human Life
3. 授業の目的と概要：なぜ死生学という学問が誕生したのかというところから始め、終末期医療、在宅での看取りといった現代医療の問題や、大震災被災地での支援、老人介護など、超高齢多死社会といわれる現代生活の多様な局面を取り上げながら、誰もがケアの担い手になり得るという現実を理解し、それぞれの立場から人間の生と死を取り巻く諸問題にどのように対処していけばよいのかを考察する。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course describes the origins and purposes of the discipline of thanatology and covers various problems and challenges faced by modern medicine, such as an increasing demand for terminal care and home health nursing. Today, we are asked to provide care and support in multiple and varied circumstances: as volunteers in the areas affected by the Great East Japan Earthquake, as elderly care workers, etc. Ultimately, any member of our super-aged, mass death society may find him- or herself in the position of a caregiver. This course aims to prepare students for this role and give each of them an opportunity to look for his or her personal way to address a range of issues related to human life and death.
5. 学習の到達目標：
 - ①対話スタイルで進められる授業を通して、対話的探究の楽しさと可能性を味わい、対話のスピリットと技法を習得する。
 - ②テキストを読み、他の受講者や教員と対話することを通して、「死とともに生きる」自分なりの構えと知恵を身につける。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will learn the key concepts of thanatology and gain a deeper insight into present-day issues concerning life and death. Students are expected to:
 - 1) discover the joys, as well as effectiveness, of dialogic inquiry through interactive, dialogic 1
7. 授業の内容・方法と進度予定：

本授業では、すべての人間の共通課題である「死」と「死別」と正面から向き合い、他者とともにどのように生きるかについて、対話を通して共に探究する。授業は、1) 所定のテキストの各章(序章～終章)をめぐる9つの対話、2) 受講者とともに問いを設定する3回の死生学カフェ、3) 重度障害者の自立生活に関する動画鑑賞により構成される。

 - ・ 1) ガイダンス：講義の目的と進め方、「対話」をめぐる試行の対話
 - ・ 2) ワールドカフェ ある死別の経験から(序章)
 - ・ 3) 映画『生かされて生きる』鑑賞

 - ・ 4) テキストをめぐる対話① 重度障害者自立ホームから(第1章)
 - ・ 5) テキストをめぐる対話② 在宅緩和ケアの現場から(第2章)
 - ・ 6) テキストをめぐる対話③ 死者と共にある農村との出会い(第3章)
 - ・ 7) 死生学カフェ①

 - ・ 8) テキストをめぐる対話④ いのちに気づかって生き、死ぬ(第4章)
 - ・ 9) テキストをめぐる対話⑤ 共に生きること、本当に生きること(第5章)
 - ・ 10) テキストをめぐる対話⑥ 森と湖の国の「福祉」(第6章)
 - ・ 11) 死生学カフェ②

 - ・ 13) テキストをめぐる対話⑦ ホスピス運動の源流を辿る(第7章)
 - ・ 14) テキストをめぐる対話⑧ 死とともに生きることを学ぶ～哲学と対話(終章)
 - ・ 15) 死生学カフェ③
8. 成績評価方法：

ポイント制とします。試験やレポートはありません。

 1. テキストをめぐるワールドカフェ/対話(全9回)の準備作業として、受講者は各回の授業冒頭にフィードバックシートを提出します。すべての設問にきちんと回答して、フィードバックシートをすべて提出すると、8点満点×9回=72点のポイントを獲得します。
 2. 全体対話での発言については、これを対話的探究への寄与と位置づけ、1回あたり3点を加算します。
9. 教科書および参考書：

講義担当者の単著『死とともに生きることを学ぶ 哲学と対話』(ポラーノ出版 2019 ISBN: 978-4908765223)をテキストとして使用します。宗教学研究室にて割引価格で購入できるように手配します。

The course is based on the instructor's book:
Takenouchi Hirobumi. Shi to Tomo ni Ikiru Koto wo Manabu: Tetsugaku to taiwa (Polano Shuppan, 2019)

1 0. 授業時間外学習：講義テキストを事前に読み、序章から終章について、それぞれフィードバックシートに記入してもらいます。通常の授業より、事前の準備課題が多いように感じられるかもしれません。しかしその分、事後のレポートや試験はありません。対話＝本番という考え方を共有してください。

Students are required to read the assigned texts in advance and fill in all feedback sheets (eight in total).

1 1. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicatesthe practicalbusiness

1 2. その他：

きちんと準備して臨めば、きっと楽しい授業となるでしょう。母校での対話的探究を楽しみにしています。死生学カフェと対話については次の URL を参照ください。<https://www.facebook.com/shiseigakucafeshizuoka/>
<http://hdl.handle.net/10297/00027723>

科目名：実践宗教学各論／ Practical Religious Studies (Special Lecture)

曜日・講時：前期 金曜日 4 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：谷山洋三

コード：LB55409 科目ナンバリング：LHM-RES308J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：スピリチュアルケア
2. Course Title (授業題目)：Spiritual Care
3. 授業の目的と概要：国内のスピリチュアルケアの議論に触れつつ、その多様性と課題を確認した上で、臨床宗教師が誕生した背景、スピリチュアルケアと宗教的ケアの相違、両ケアの共通性としての宗教的資源の活用など、ケア実践の具体像に迫るとともに、体験的ワークにより理解を深める。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：Discussing the debates on spiritual care in Japan and confirming its diversity and challenges; such as the background of the birth of Rinsho-shukyo-shi, or interfaith chaplain, the difference between spiritual care and religious care, and the utilization of religious resources as the commonality of both cares, The students will explore the specifics of care practice and deepen their understanding through a workshop.
5. 学習の到達目標：
公共空間で提供されるスピリチュアルケアについて、その理念と方法を理解を深める。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：The purpose of this course is to help students better understand spiritual care provided in public spaces and its philosophy and methods.
7. 授業の内容・方法と進捗予定：
オンライン授業の場合は、ライブ配信で実施する。詳細は、Google Classroom に提示する。
第1回：オリエンテーション
第2回：チャプレンとビハーラ僧
第3回：「臨床宗教師」の誕生
第4回：生活の中にある心のケア
第5回：スピリチュアルペイン
第6回：スピリチュアルな探求
第7回：「支える」「気づいてもらう」スピリチュアルケア
第8回：「新しい枠組みを作る」「無力による」スピリチュアルケア
第9回：宗教的資源の活用
第10回：宗教的ケア
第11回：臨床宗教師の可能性
第12回：臨床宗教師の資質
第13回：ワークショップ「死の体験」
第14回：ワークショップ振り返り
第15回：まとめ
8. 成績評価方法：
授業時提出の小レポート[50%]、発表・授業への取り組み[50%]
9. 教科書および参考書：
教科書：谷山洋三『医療者と宗教者のためのスピリチュアルケア』中外医学社、2016年
参考書：鎌田東二編『講座スピリチュアル学第1巻』ビイグ・ネット・プレス、2014年
10. 授業時間外学習：授業内で指示する。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：○
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
12. その他：

科目名：実践宗教学各論／ Practical Religious Studies (Special Lecture)

曜日・講時：後期 金曜日 4 講時

Semester：6 単位数：2

担当教員：谷山洋三

コード：LB65408 科目ナンバリング：LHM-RES308J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：宗教的ケア
2. Course Title (授業題目)：Religious Care
3. 授業の目的と概要：「祈り」をテーマに、様々な宗教者、臨床宗教師、スピリチュアルケア師、医療従事者などの臨床の在り方について議論する。スピリチュアルケアや宗教的ケアの視点から、主として公共空間における「祈り」のケアとしての意義や、効果についても検討したい。毎回テーマに関する雑誌論文等を指定し、演習形式で授業を進める。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：We will discuss the clinical practice of various religious leaders, chaplains, spiritual care providers, and medical professionals on the theme of "prayer." From the perspective of spiritual and religious care, we will also examine the significance and effectiveness of prayer as a form of care, mainly in public spaces. The class will be conducted in a seminar format, with journal articles and other materials related to the theme assigned each time.
5. 学習の到達目標：
「祈り」について、その宗教的意義と、ケアとしての意義の両方の側面から検討し、理解を深める。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：We will examine and deepen our understanding of "prayer," both from the perspective of its religious significance and its significance as a form of care.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
オンライン授業の場合は、ライブ配信で実施する。詳細は、Google Classroom に提示する。
第1回：オリエンテーション
第2回：玉井仁「祈りが人に与える効果についての研究」
第3回：高橋原「ケアの場に求められる宗教性とは何か？」
第4回：打本弘祐「医療における宗教的ケアとニーズをめぐって」
第5回：大柴譲治『『パストラルケア』と『スピリチュアルケア』』
第6回：小括（ケアと祈り）
第7回：永見純子「看護の中の祈りについての文献検討」
第8回：宮川裕美子ら「日本バプテスト連盟医療団におけるホスピスのチャプレン介入の実態調査」
第9回：山本佳世子「宗教者による非信者への宗教的ケアについて」
第10回：西岡秀爾「スピリチュアルケアにおける祈りの諸相」
第11回：小括（諸宗教と祈り）
第12回：橋口玲子「日本におけるスピリチュアルケア体制へ向けた医療政策について」
第13回：丸山空大「うたと祈り」
第14回：棚次正和「言葉の祈りと行為の祈り」
第15回：まとめ
8. 成績評価方法：
授業時提出の小レポート[50%]、発表・授業への取り組み[50%]
9. 教科書および参考書：
参考書：窪寺俊之『スピリチュアルケア学概説』三輪書店、2008年
谷山洋三『医療者と宗教者のためのスピリチュアルケア』中外医学社、2016年
葛西健太ほか編『ケアとしての宗教』明石書店、2013年
10. 授業時間外学習：毎回担当を決めて要約、レジュメ作成し、発表する。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：○
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
12. その他：
実践宗教学各論(スピリチュアルケア)を履修済みであることが望ましい。

科目名：宗教学講読／ Science of Religions (Reading)

曜日・講時：前期 火曜日 4 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：Andrews Dale

コード：LB52407 科目ナンバリング：LHM-RES303E 使用言語：英語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：A study of ghostlore in America
2. Course Title (授業題目)：A study of ghostlore in America
3. 授業の目的と概要：In this class we will examine various examples of folk belief in America, with a particular focus on ghost stories, known as "ghostlore." We will read English language texts written on the subject of ghosts and the supernatural. In this class, we will stu
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：In this class we will examine various examples of folk belief in America, with a particular focus on ghost stories, known as "ghostlore." We will read English language texts written on the subject of ghosts and the supernatural. In this class, we will study one aspect of American folk belief, but it is hoped that students will gain greater insight into contemporary American society, and be challenged to re-examine through the critical lens of folklore studies their own culture's folk beliefs regarding supernatural phenomenon.
5. 学習の到達目標：
After completing this course, students should have acquired the following skills: (1) Be able to summarize English text. (2) Be able to make basic translations of English text. (3) Be able to express an opinion in English. (4) Be able to identify ghostlor
6. Learning Goals (学修の到達目標)：After completing this course, students should have acquired the following skills: (1) Be able to summarize English text. (2) Be able to make basic translations of English text. (3) Be able to express an opinion in English. (4) Be able to identify ghostlor
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 1 回目
【事前学修】 Peruse the textbook.
【授業内容】 Class Guidance.
【事後学修】 Review your notes from the Class Guidance. Formulate any questions you might have regarding attendance and evaluation.
 - 2 回目
【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.
【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.
【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.
 - 3 回目
【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.
【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.
【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.
 - 4 回目
【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.
【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.
【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.
 - 5 回目
【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.
【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.
【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.
 - 6 回目
【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.
【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.
【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.
 - 7 回目
【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.
【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.
8回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.
9回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.
10回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.
11回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.
12回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.
13回目

事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.
14回目

事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.
15回目

【事前学修】 Review what you have learned this semester. Study for the test.

【授業内容】 Test. Followed by a review discussion.

【事後学修】 On your own, attempt to answer any remaining questions that you may have.

8. 成績評価方法 :

Written assignments 50%; In-class discussion & activities 30%; Test 20%.

Specific evaluation criteria will be explained in class.

9. 教科書および参考書 :

Reference texts: "Haunted Halls: Ghostlore of American College Campuses" (University Press of Mississippi, 2007);

"Haunting Experiences: Ghost in Contemporary Folklore" (Utah State University Press, 2007)

10. 授業時間外学習 : 3 to 5 hours per week of out of class study is required.

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness :

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

12. その他 :

An English/Japanese dictionary is necessary. 3 to 5 hours per week of out of class study is required. The instructor will be available before and after class for questions and consultation.

科目名：宗教学講読／ Science of Religions (Reading)

曜日・講時：後期 火曜日 4 講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：Andrews Dale

コード：LB62409 科目ナンバリング：LHM-RES303E 使用言語：英語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：A study of ghostlore in America
2. Course Title (授業題目)：A study of ghostlore in America
3. 授業の目的と概要：In this class we will examine various examples of folk belief in America, with a particular focus on ghost stories, known as "ghostlore." We will read English language texts written on the subject of ghosts and the supernatural. In this class, we will stu
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：In this class we will examine various examples of folk belief in America, with a particular focus on ghost stories, known as "ghostlore." We will read English language texts written on the subject of ghosts and the supernatural. In this class, we will study one aspect of American folk belief, but it is hoped that students will gain greater insight into contemporary American society, and be challenged to re-examine through the critical lens of folklore studies their own culture's folk beliefs regarding supernatural phenomenon.
5. 学習の到達目標：
After completing this course, students should have acquired the following skills: (1) Be able to summarize English text. (2) Be able to make basic translations of English text. (3) Be able to express an opinion in English. (4) Be able to identify ghostlor
6. Learning Goals (学修の到達目標)：After completing this course, students should have acquired the following skills: (1) Be able to summarize English text. (2) Be able to make basic translations of English text. (3) Be able to express an opinion in English. (4) Be able to identify ghostlor
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 1 回目
【事前学修】 Peruse the textbook.
【授業内容】 Class Guidance.
【事後学修】 Review your notes from the Class Guidance. Formulate any questions you might have regarding attendance and evaluation.
 - 2 回目
【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.
【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.
【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.
 - 3 回目
【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.
【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.
【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.
 - 4 回目
【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.
【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.
【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.
 - 5 回目
【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.
【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.
【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.
 - 6 回目
【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.
【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.
【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.
 - 7 回目
【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.
【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

8回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

9回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

10回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

11回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

12回目

【事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

13回目

事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

14回目

事前学修】 Read the assigned section before coming to class. Look up the definitions for unknown vocabulary and expressions. Prepare translations when necessary.

【授業内容】 Discussion of the text and/or presentations.

【事後学修】 Reread the text and review your notes for fuller comprehension. Complete the assigned work.

15回目

【事前学修】 Review what you have learned this semester. Study for the test.

【授業内容】 Test. Followed by a review discussion.

【事後学修】 On your own, attempt to answer any remaining questions that you may have.

8. 成績評価方法：

Written assignments 50%; In-class discussion & activities 30%; Test 20%.

Specific evaluation criteria will be explained in class.

9. 教科書および参考書：

Reference texts: "Haunted Halls: Ghostlore of American College Campuses" (University Press of Mississippi, 2007);

"Haunting Experiences: Ghost in Contemporary Folklore" (Utah State University Press, 2007)

10. 授業時間外学習：3 to 5 hours per week of out of class study is required.

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

12. その他：

An English/Japanese dictionary is necessary. 3 to 5 hours per week of out of class study is required. The instructor will be available before and after class for questions and consultation.

科目名：宗教学演習／ Science of Religions (Seminar)

曜日・講時：前期 金曜日 5 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：木村 敏明、高橋 原、谷山 洋三、大村哲夫

コード：LB55503 科目ナンバリング：LHM-RES304J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：宗教学研究の技法

2. Course Title (授業題目)：How to study religions: presentation and discussion class

3. 授業の目的と概要：毎回複数の受講生が研究発表を行い、その内容をめぐって参加者全員が検討し議論をすることで、自らの問題関心を聴衆に理解されるように発表する力、他者の研究発表を正確かつ批判的に聞く力、異なった見解を持った者で議論をする力を涵養することを目指す。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：The aim of this course is to help students acquire the necessary skills to present the result of their study, to hear and understand them precisely and to discuss about them logically. In every class, students will make discussions on the presentations done by 2-3 students in turn.

5. 学習の到達目標：

宗教学研究のために必要な知識と技法を習得することができる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will gain abundant knowledge and skills required in religious studies.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. インTRODクシヨン：授業の狙いおよび進め方

2. 学部3年発表 グループ1

3. 学部3年発表 グループ2

4. 学部3年発表 グループ3

5. 学部3年発表 グループ4

6. 学部3年発表 グループ5

7. 学部3年発表 グループ6

8. 予備日：学部3年欠席者のため

9. 学部4年発表 グループ1

10. 学部4年発表 グループ2

11. 学部4年発表 グループ3

12. 学部4年発表 グループ4

13. 学部4年発表 グループ5

14. 学部4年発表 グループ6

15. 予備日：学部4年欠席者のため

8. 成績評価方法：

発表および討論への参加

9. 教科書および参考書：

教科書は使用しない。参考書については、授業中に紹介する。

No textbook will be used. References will be introduced in the class.

10. 授業時間外学習：発表準備。

Preparation for presentation

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

科目名：宗教学演習／ Science of Religions (Seminar)

曜日・講時：後期 金曜日 5 講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：木村 敏明、高橋 原、谷山 洋三、大村哲夫

コード：LB65502 科目ナンバリング：LHM-RES304J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：宗教学研究の技法
2. Course Title (授業題目)：How to study religions: presentation and discussion class
3. 授業の目的と概要：毎回複数の受講生が研究発表を行い、その内容をめぐって参加者全員が検討し議論をすることで、自らの問題関心を聴衆に理解されるように発表する力、他者の研究発表を正確かつ批判的に聞く力、異なった見解を持った者で議論をする力を涵養することを目指す。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：The aim of this course is to help students acquire the necessary skills to present the result of their study, to hear and understand them precisely and to discuss about them logically. In every class, students will make discussions on the presentations done by 2-3 students in turn.
5. 学習の到達目標：
宗教学研究のために必要な知識と技法を習得することができる。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will gain abundant knowledge and skills required in religious studies.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 1. インTRODクシヨン：授業の狙いおよび進め方
 2. 学部3年発表 グループ1
 3. 学部3年発表 グループ2
 4. 学部3年発表 グループ3
 5. 学部3年発表 グループ4
 6. 学部3年発表 グループ5
 7. 予備日：学部3年欠席者のため
 8. 学部4年発表 グループ1
 9. 学部4年発表 グループ2
 10. 学部4年発表 グループ3
 11. 学部4年発表 グループ4
 12. 学部4年発表 グループ5
 13. 予備日：学部4年欠席者のため
 14. 学部2年発表 グループ1
 15. 学部2年発表 グループ2
8. 成績評価方法：
発表および討論への参加。
9. 教科書および参考書：
教科書は使用しない。参考書については、授業中に紹介する。
No textbook will be used. References will be introduced in the class.
10. 授業時間外学習：発表準備。
Preparation for presentation
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicatesthe practicalbusiness
12. その他：

科目名：宗教学実習／ Science of Religions (Field Work)

曜日・講時：前期 月曜日 4 講時. 前期 月曜日 5 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：木村 敏明

コード：LB51405 科目ナンバリング：LHM-RES306J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：宗教学調査法
 2. Course Title (授業題目)：How to research religions: from planning to fieldwork
 3. 授業の目的と概要：他者の信仰を理解するためには、文字化された資料を扱うのみでは限界があり、フィールドワークに基づき、活きた信仰を解き明かすことが必須である。本授業では、宗教調査の方法とスキルについて講義を通して学習し、夏季におこなう共同調査に向けて調査計画の立案を行う。
 4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：It is important for students in religious studies to know living religious cultures. This course offers an opportunity for students to experience field research to deepen their understanding of religion.
 5. 学習の到達目標：
 - (1) 宗教調査の立案、準備、実施、資料整理、発表の技法を身につける。
 - (2) 調査を通じて「活きた宗教」に対する理解を深める。
 6. Learning Goals (学修の到達目標)：This course is designed to help students develop basic skills of field research in religious studies and deepen their understanding of living religious cultures
 7. 授業の内容・方法と進度予定：
 1. イントロダクション
 2. 第一回：民間信仰の基礎 社会組織と講
 3. 第二回：民間信仰の基礎 年中行事①
 4. 第三回：民間信仰の基礎 年中行事②
 5. 第四回：民間信仰の基礎 人生儀礼①
 6. 第五回：民間信仰の基礎 人生儀礼②
 7. 第六回：民間信仰の基礎 神社と寺院
 8. 第七回：民間信仰の基礎 民話と伝説
 9. 第八回：民間信仰の基礎 民間信仰の現在
 10. 第九回：調査と研究の倫理
 11. 第十回：現地調査計画の立案
 12. 第十一回：現地調査準備① 地域について知る
 13. 第十二回：現地調査準備② 先行研究をまとめる
 14. 第十三回：現地調査準備③ 質問項目を考える
 15. 第十四回：まとめ、調査の最終チェック
 8. 成績評価方法：

授業/ 調査への取り組み、発表を総合的に評価する
 9. 教科書および参考書：

教科書は使用しない。参考書については、授業中に紹介する。
- No textbook will be used. References will be introduced in the class.
10. 授業時間外学習：授業中に指示された課題、準備。夏季に実施される現地調査への参加。

Students are required to prepare for class assignments and attend to Summer Semester Research.
 11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：○

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business
 12. その他：

科目名：宗教学実習／ Science of Religions (Field Work)

曜日・講時：後期 月曜日 4 講時. 後期 月曜日 5 講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：木村 敏明

コード：LB61408 科目ナンバリング：LHM-RES306J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：宗教学調査法
2. Course Title (授業題目)：How to research religions: from planning to fieldwork
3. 授業の目的と概要：他者の信仰を理解するためには、文字化された資料を扱うのみでは限界があり、フィールドワークに基づき、活きた信仰を解き明かすことが必要である。本授業では、夏季に行われた宗教調査をもとにしてそのまとめ作業をおこなう。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：It is important for students in religious studies to know living religious cultures. This course offers an opportunity for students to experience field research to deepen their understanding of religion.
5. 学習の到達目標：
 - (1) 宗教調査の立案、準備、実施、資料整理、発表の技法を身につける。
 - (2) 調査を通じて「活きた宗教」に対する理解を深める。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：This course is designed to help students develop basic skills of field research in religious studies and deepen their understanding of living religious cultures
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 1. インTRODakション 後期授業の概要
 2. 第一回、調査のまとめ①
 3. 第二回、調査のまとめ②
 4. 第三回、調査のまとめ③
 5. 第四回、調査のまとめ④
 6. 第五回、調査のまとめ⑤
 7. 第六回、調査のまとめ⑥
 8. 第七回、中間発表
 9. 第八回、動画編集①
 10. 第九回、動画編集②
 11. 第十回、動画編集③
 12. 第十一回、動画編集④
 13. 第十二回、動画編集⑤
 14. 第十三回、成果発表
 15. 第十四回、総括と反省
8. 成績評価方法：

授業/ 調査への取り組み、発表を総合的に評価する
9. 教科書および参考書：

教科書は使用しない。参考書については、授業中に紹介する。

No textbook will be used. References will be introduced in the class.
10. 授業時間外学習：授業中に指示された課題、準備。

Students are required to prepare for class assignments.
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：○

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness
12. その他：